

合同教育研究会議（3月22日開催）議事概要

1 開催日時

令和5年3月22日 13時00分～14時25分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、
狩野副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、
猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、
福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、
高嶋総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、長坂生活科学科長、
松田宮古短期大学部長、大志田経営情報学科長、
菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、
長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長※Web参加）

[事務局]

新沼事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、北島企画室長、瀧澤宮古事務局長、
八木主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議3月9日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

- (1) 岩手県立大学宮古短期大学部学則の一部を改正する学則案について
- (2) 岩手県立大学宮古短期大学部履修規程の一部を改正する規程案について
猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり了承された。
- (3) 公立大学法人岩手県立大学安全保障輸出管理規程の制定について
狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
鈴木学長から、間接的に安全保障輸出管理に関係する場合もあり、判断が難しい
ため、チェックシートの準備を進めているとの発言があった。
審議の結果、原案のとおり了承された。
- (4) 公立大学法人岩手県立大学令和5年度計画（案）について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり了承された。

協議事項

第6次岩手県立大学情報システム整備計画案について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

鈴木学長から、令和5年度計画のカーボン・ニュートラルの取組に関連して、情報システムは多くの電力を消費するため、省エネ対策も併せて進めるとの発言があった。

協議の結果、原案のとおり了承された。

報告事項（口頭報告）

(1) 令和5年度宮古短期大学部に係る2次募集実施について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(2) 令和5年度実施予定の「物価高に対する経済対策支援事業」について

三上学生支援本部長及び高田学生支援室長から、資料に基づき説明があった。

(3) 「岩手県立大学明るい選挙推進サポーター県大 Voters」の第26回参議院議員通常選挙総務大臣表彰伝達式について

三上学生支援本部長及び高田学生支援室長から、資料に基づき説明があった。

(4) 筋ジストロフィーによる障がいをもつ学生の受入れについて

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、他の学生への周知について質問があり、高田学生支援室長から、特別視しすぎないほうがいいのではないかと考えているが、社会福祉学部を中心にピアサポーターを募ることを考えており、募集に併せて学生へ周知できるよう、周知方法等を現在検討中であるとの回答があった。これに対し、委員から、多様な学生が学ぶキャンパスであるということを学生に周知する機会にしてほしいとの発言があった。

(5) LGBTQ+（プラス）相談体制の整備について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

相談場所が学生サポートサロン内では、学生は相談しにくいのではないかと委員からの意見に対し、三上学生支援本部長から、相談方法は対面だけでなく、メールや電話、オンラインでも対応するものであるとの発言があった。

(6) 企業学群構想の検討状況について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(7) 全学競争研究費制度の改正について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(8) 令和5年度科学研究費助成事業研究種目別採択状況について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。学部等別の申請・採択状況は4月以降に報告すること、若手への支援に力を入れてはどうかとの意見が出されており、次年度以降の取組を検討しているとの補足説明があった。

(9) 国連アカデミック・インパクト活動報告書について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

鈴木学長から、本学の取組を広く発信するためのものであること、10原則のうち本学が主にコミットするものとして4項目を選択しているが、選択している項目以外でも10原則に該当する取組があれば積極的にデータを出してほしいとの発言があった。

(10) 公立大学法人岩手県立大学文書管理委員会の設置について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。岩手県の公文書管理条例に基づき設置するものであること、保存期間が30年以上の文書は保存期間満了後に歴史公文書として別に管理していく必要があり、汚損等により保存に耐えられないような場合に当該委員会において廃棄の妥当性を審議した上で岩手県公文書管理委員会に諮ることになるが、件数は多くないと考えられること、当該委員会は年1回程度の開催となる見込みであるとの補足説明があった。

(11) 公立大学法人岩手県立大学ダイバーシティ推進室の設置について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。資料にある「職員」とは教職員を指すものであるとの補足説明があった。

現在設置されている男女共同参画推進センターがダイバーシティ推進室に移行するののかとの委員からの質問に対し、新沼事務局次長兼総務室長から、ダイバーシティ推進室において今後の方針を決定するまで男女共同参画推進センターは既存のままとし、方針決定後に整理する予定であるとの回答があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和5年度岩手県立大学キャリア教育科目一覧の作成について（報告）
- (2) 令和5年度入学式の実施概要について
- (3) 新型コロナウイルス感染症に係る学生の出席見合わせの連絡について
- (4) 令和4年度学生表彰「学長特別賞及び学長奨励賞」について
- (5) 令和4年度合同企業等説明会の開催結果について
- (6) イノベブリッジたきざわ、滝沢市との連携協定の締結について
- (7) 「とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会」の出展結果について（報告）
- (8) 「令和4年度岩手県立大学新技術説明会」開催結果について（報告）

三上学生支援本部長から、(3)について、令和5年度の入学式以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行する令和5年5月8日までの間、資料のとおりに対応とすること、5類移行後の扱いについては、危機管理対策本部会議において別途協議する予定であるとの補足説明があった。

その他

- ・ 北島企画室長から、今年度のファクトブックを机上配付した旨、説明があった。
- ・ 委員から、様々な計画の策定や組織の設置が進められ、第四期中期目標期間が始まる令和5年度は大学が大きく飛躍する年となることから、これからの取組に期待するとともに、教育や研究を通じた学生のさらなる飛躍を期待するとの発言があった。

- 委員から、大学の運営に必要な環境整備が着実に進んでいることから、岩手の教育や人材育成を学外に向けてアピールしていくことを期待するとの発言があった。